

第 3 回 吉 井 地 域 審 議 会

第 5 次総合計画前期実施計画に係る質疑

事業名	No	質疑	回答
吉井中央公園（仮称）整備事業	1	吉井駅周辺から中央公園までの道路は、非常に狭い上橋が二つあり曲がりくねった道路となっている。避難路として特に整備をお願いしたい。	防災公園なので市街地から公園への避難路ということで検討したい。
	2	硬式野球場ということで話がスタートしたようだが、目的は多目的グラウンドという説明である。野球場を兼ねた多目的グラウンドになるのか。藤岡の市民球場に匹敵する施設になるとの話も聞くが、事実か。	<p>多目的野球場と防災を兼ねた多目的公園となる。野球場の規模は、藤岡の市民球場は意識していないが、子供から高校生位までが使えるしっかりとした安全な野球場を整備したい。ネット等も、硬式の場合は非常に高くネットを張り周辺にボールが出ないような安全対策が基準となる。</p> <p>事業地は約4ヘクタールを考えている。藤岡市民球場は立派な球場だと思うが、そこまでのスタンドを作ることは想定していない。</p>
多胡碑周辺重要遺跡範囲確認調査事業	1	<p>現在、富岡製糸場が世界遺産に推薦されることに決まり、多くの観光客が訪れている。その見学・観光コースに多胡碑を入れるような状況を作れないか。</p> <p>多胡碑は書道史の上からも重要で、多くの書道家達に愛されている。多胡碑記念館を書道博物館として書道家が書の殿堂入りを目指していけるような夢のある構想（次項へ続く）</p>	<p>富岡製糸場、多胡碑は一つの観光コースとしてありえる。</p> <p>高崎には北谷遺跡等素晴らしい遺跡があるが、観光として史跡めぐりを一日のコースにするのは難しい。街全体に魅力があることや、食事等色々なものを組み合わせたコースを考える必要がある。多胡碑の調査を（次項へ続く）</p>

多胡碑周辺重要遺跡範囲確認調査事業		<p>(前項の続き)</p> <p>を進めていただきたい。</p> <p>大勢の人に多胡碑の価値を知ってもらい、継続して多胡碑に来ていただくという取り組みを多胡郡建郡1300年記念事業から引き継ぐ事業として進めて欲しい。</p>	<p>(前項の続き)</p> <p>引き続き進めて大事な文化資源としていきたい。</p>
	2	<p>報告では補正予算で事業を進めているようである。今後も引き続き調査が必要と思われるので、しっかりと予算計上をして事業を進めていただき、一日も早く建郡当時の郡衙やその規模、広がりを明らかにしていただきたい。</p>	<p>予算の組み方は安定していないが、大事な事業であるということは認識している。しっかりと調査したい。</p>

報告事項の質疑

事業名	No	質疑	回答
平成23年度高崎市決算の概要について	1	<p>中核市への移行後、職員数はどの程度増えたのか。</p> <p>また、国の地方交付税の先送りにより、臨時的な財源充当のための銀行等からの借り入れや利子の支払い状況はどうか。</p>	<p>職員数は、高崎経済大学の法人化や、事務改善・外部委託・指定管理の導入等により、平成22年度の職員数は2,599人、平成23年度は2,493人となっており、106人の人員削減となった。平成23年度から24年度にかけては、40人の人員削減をしており、平成24年4月現在の職員数は2,453人である。</p> <p>地方交付税は、国会において特例公債法の成立が遅れた関係から、11月初めの交付予定から遅れていたが、11月16日に正式に成立し11月19日に37億円の普通交付税が交付された。その間、自前の積立金などを運用しており、市中銀行からの一時借り入れはしていない。</p>

その他の質疑

内容区分	No.	質 疑	回 答
吉井支所への対策について	1	地域振興の要となる吉井支所の具体的な元気対策の取り組みは。	合併地域ごとに設置している支所では、主に直接住民と密に接する業務を行なっているが、地域ごとの特性にあった政策の展開も必要と考えている。そうした中、人事交流を盛んに進め、いろいろな面・見方でそれぞれ新しい高崎を創っていくとともに、地域の特性に合ったものについては、地域と本庁で協議しながら進めている。その意味で、この地域審議会を含め、地域の方々の色々な意見を聞く努力をさせていただいている。
吉井地域での工業団地の整備について	1	市長のお考えに今後の吉井地域の工業立地の青写真があれば教えていただきたい。	吉井地域は首都圏から見れば吉井インターチェンジもあり、立地条件は悪くない。ただ、まとまった平地の大きな工業団地を造るとなると「帯に短し襷に長し」というところがある。まずは、倉賀野の操車場跡、次はスマートインターチェンジ周辺の工業団地整備となるが、その後は高崎で大きな企業の立地を整備する場所が、個々にはあるが大きな候補地はない。それぞれの地域と企業の需要及び条件を照らし合わせて対応していかななくてはならないが、その意味で吉井地域は重要なターゲットであるのは間違いない。ただ、あらかじめ大きな工業団地を造る、という条件では必（次項へ続く）

吉井地域での工業団地の整備について			<p>(前項の続き)</p> <p>ずしも適っていない。手を挙げてすぐに企業がくるわけではなく、その都度企業と調整が必要である等手間暇はかかるが、仕事が増えることは絶対必要な条件であるので一生懸命取り組んでいきたい。</p>
耕作放棄地対策について	1	<p>耕作放棄地をこれ以上増やさない施策として以下2点を市長にお願いしたい。</p> <p>耕作放棄地となることが確実な農地を地域の農業者が代わって耕作することを奨励していただきたい。</p> <p>実施にあたって、トラクターの軽油代など一部の経費でも支援していただきたい。</p>	<p>後継者の不足等で現状利益が出ていないことを農業者が善意ですということとは長期的には無理があると考えている。収益が上がり職業として成立していなければ後継者は確保できない。そのため、市では職として後継者が成立することが必要と考え、高崎の農産物をたくさん売り、また、収益を上げるための取り組みを始めている。高崎はたいへん良い農産物を生産しているが、ブランド力がないということもあり、ブランド力を高めることと首都圏でたくさん売ることが大事である。地産地消だけではパイが小さすぎて収益が低く、職業として成立しない。そのため首都圏でたくさん売れるようにする「地産多消」が必要である。そのための新しい手法として、「ぐるなび」という IT 企業と組み、高崎の農産物を首都圏で広報してたくさん売れるようにする取り組みを始めている。設備支援することは検討課題であるが、一時的支援では職業として長く支えることが難しく、補助金頼りというもの(次項へ続く)</p>

耕作放棄地対策について			<p>(前項の続き)</p> <p>また難しい。貸付の話など改善する点があれば努力したい。</p> <p>他地域の審議会でも耕作放棄地の話題は必ず出ている。年々高齢化が進行し、貸し手がいても借り手がいないのが実情である。国をはじめ県・市ともに農地の集積を進めているが、農地が分散していてなかなか進んでいない。農業公社を活用するなど、農業委員会を中心に解消に努めているが、市としての農政施策は、市長の発言のとおりである。具体的な方策については、今後も農業委員会と検討させていただきたい。</p>
	2	<p>市長の考えとおり、高崎市の農産物を有利に販売することが土地の有効利用には一番大事であると考え、農協としてもその問題に取り組んでいる。今後も農産物の販売に力を入れていただければ農協としてもありがたい。</p>	<p>【要望】</p>
山種記念吉井図書館の老朽化について	1	<p>山種記念吉井図書館は老朽化が進行し「階段の段差が高い・スロープが入りづらい・通路が狭い・読み聞かせのスペースがない」等の問題を抱え、危険な箇所がある。コミュニティーの場として注目されている図書館が、吉井だけが古く危険な状態であるので、次世代の子供たちのためにも早期に改善していただきたい。</p>	<p>吉井地域は、総合福祉センター事業や障害者自立支援センター事業などを進めている。また、現在、高崎市では学校の耐震化に一番力を入れており、早期に完了させたいと考えている。現在、後期総合計画を策定しており、そのなかに様々な事業が入ってくる。「高崎のどの場所に、何を」ということだけではなく、全(次項へ続く)</p>

山種記念吉井図書館の老朽化について			(前項の続き) 体的な公共施設のバランスを見て実施している部分もあり、ご意見もその中で検討したい。
新町公園構想について	1	<p>第5次総合計画の中でも、中央公園事業に引き続き、後期から新町公園構想がある。構想のなかで、図書館だけでなく公民館・体育館・文化会館等も早期に改善が必要な状況なので、全体構想を早期に作っていただき、また、緊急性を要する図書館等から着手していただきたい。</p> <p>また、上信電鉄に上佐野駅を新しく造る構想が固まってきているようである。これは高齢者対策の意味でも交通弱者が利用しやすく、買物にも便利ということで、上佐野駅に引き続き交通対策として、多胡碑周辺に駅ができればと思うので、検討をお願いしたい。関連する構想やお考えがあればお話いただきたい。</p>	<p>新町公園は、中央公園事業の後に整備する予定である。中央公園は大きな事業であり、予定より少し時間を要する見込みである。その後に第5次総合計画のなかに位置づけてある新町公園構想を検討する。新町公園は吉井駅の目の前の一番大事なところにある。現在、吉井駅の駅前広場等は、非常に使いにくいため、沿線市町村連絡協議会に群馬県も入り、将来的に駅のトイレや駅前広場をどうするかを検討している。高崎から吉井方面のトイレ等のない一部の駅は、それを直すとともに、バリアフリー化未実施の駅は、群馬県が積極的にバリアフリー化をしていく。下佐野の駅は、設置すればかなりの利用が図れ、高齢化社会に向け、地域の方々の足として利用できると思込まれる。上信電鉄・群馬県と協議し、市としても推進したいと考えているので、来年度から積極的に取り組みたい。また、高崎操車場跡地は企業誘致ができたので、そこにも駅を設置したい。今年度予算で、高崎市の鉄道網全体をみて、どこに駅を設置すれば地域の人たちが利用できるかを調査し、将来に向けて研究していく。その一環(次項へ続く)</p>

新町公園構想について			(前項の続き) で吉井地域の現在の駅をどうするのか、吉井駅をどうするのかを含めて「新駅はどうか」方向性を検討したい。
------------	--	--	---